

学校教育目標

学校図書館は、教育課程の展開に寄与するとともに、児童の健全な教養を育成することを目的とする

『人として』
○やさしい子 ○考える子
○やりぬく子 ○健康な子

読書をするために学校図書館を利用する児童は多い。また、調べる学習等の読書科の活動で図書館を利用する児童も増加傾向にある。

学校図書館の目標

学校図書館の活用をととして、課題に主体的に取り組み、解決しようとする意欲や態度を育てる。

ねらい

- 1 児童の読書意欲を盛んにし、豊かな心と幅広い知識を身に付ける。
- 2 学校図書館活用の指導を充実し、図書館活用能力や技能、態度を高める。
- 3 目的に応じた情報を選び、課題解決を図ることで、情報活用能力を育成する。

指導の重点

- 1 教育課程全体をととして、意図的・計画的な読書活動と学校図書館活用を推進する。
- 2 学校図書館を活用した教科等の学習の充実と情報活用能力の育成を図る。
- 3 司書教諭を中心とした学校図書館教育の推進を図る。

各学年の重点目標

第一学年	・読み物を楽しんで読もうとする。 ・図書館の正しい利用の仕方が分かる。	第二学年	・様々な種類の本を読もうとする。 ・図書館を活用した調べ学習の仕方が分かる。	第五学年	・読書をととして知識を増やし、心情を豊かにする。 ・必要な資料を収集・活用した課題解決学習の仕方が分かる。
第二学年	・読み物をすすんで読もうとする。 ・図書正しい扱い方や借り方などが分かる。	第四学年	・様々な分類の本に親しみ、すすんで読もうとする。 ・目的に応じた本を選び、調べ学習ができる。	第六学年	・読書の幅を広げ、意欲的に読み、読書量を増やす。 ・学び方を身に付け、課題解決能力をさらに高める。

具体的な取り組み

〔各教科〕

- 学校図書館を活用し、課題解決学習、調べる学習、グループ学習の場とする。
- 情報の収集・選択・活用等、情報活用能力を養う。
- 読書指導を行い、読書習慣を身に付ける。

〔総合的な学習の時間〕

- 学び方や考え方を身に付ける。
- 課題の解決、探究に主体的に取り組む。
- 系統的に情報活用能力を育成する。

〔道徳〕

- 図書資料をととして、様々な生き方や考え方に接する中で、自己を深め、道徳的心情を培う。

〔読書科〕

- 「アニメーション」「ブックトーク」等による読書の推進、習慣化
- 「本の紹介カード作り」「ビブリオバトル」等による表現活動の充実と読書意欲の向上
- 全児童が、夏休みの調べる学習コンクールに応募し、探求的な学習に取り組む。

〔特別活動〕

- 図書委員会を中心に、自発的・自治的に学校図書館を運営し、読書活動推進を図る。
- 特別活動の中で積極的に図書館を活用する。

〔家庭・地域との連携〕

- 年3回の読書週間による親子読書の推進
- ボランティアや公立図書館との連携

朝読書の推進

図書環境の整備・充実

推進組織の確立・充実